

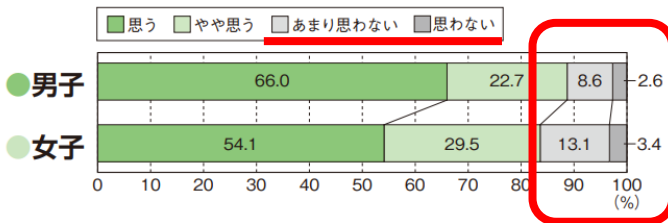
子ども主導の自由な学びも

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

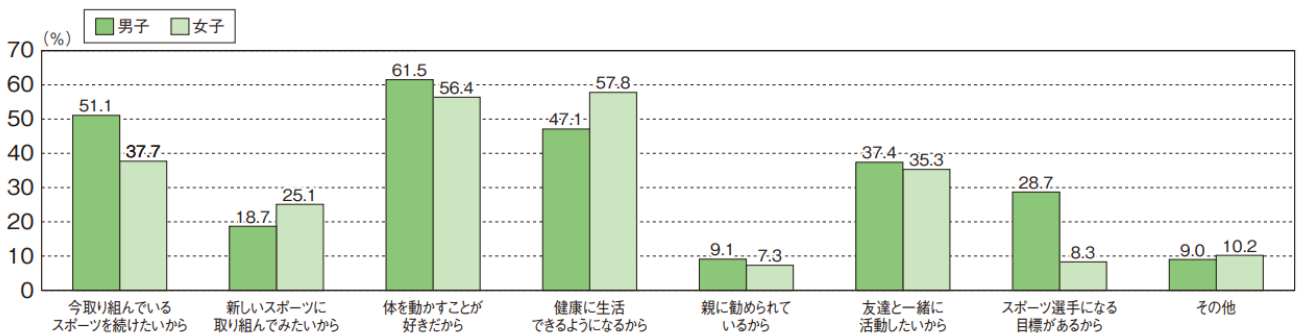
学校体育は、「生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するためのもの」と捉えています。そのために、年間活動計画や単元計画を立て授業を効率的に行なっています。

しかし、気になるデータもあります。先日発表された「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」です。

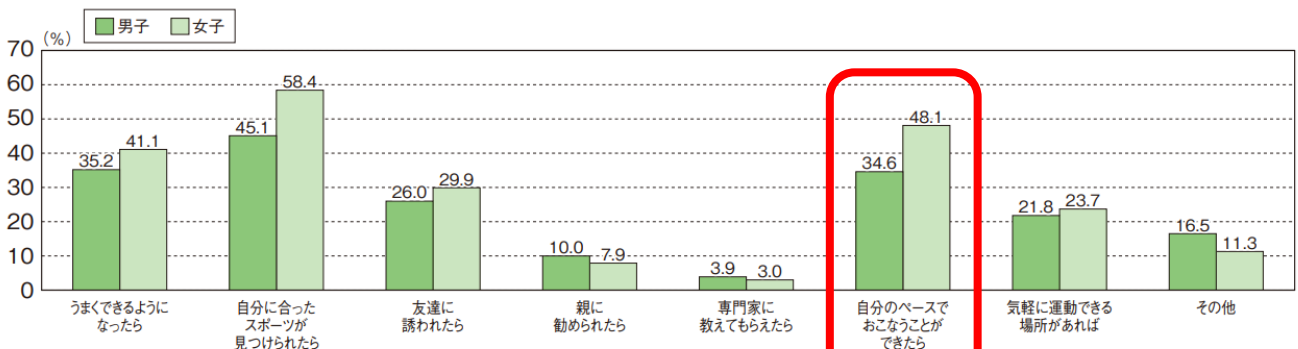
質問3 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



質問3-2 (質問3で「思う」または「やや思う」と回答した人) そのように思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。



質問3-3 (質問3で「あまり思わない」または「思わない」と回答した人) 今後どのようなことがあれば、卒業後も運動したくなくとも思いませんか。当てはまるものをすべて選んでください。



裏を返せば

自分のペースで体育学習ができていないということ？

そこで、本校の子どもたちの実態を知るべく、持久走とマット運動の単元の間隙を使って、子どもたちに1時間程度、体育館内で自由な学びの授業を設けてみました。

子どもたちに提示した条件は以下の通りです。

- ①必ず体育館内で行うこと。
- ②用具は何を使ってもよい。
- ③時間は30分。
- ④「活動あって学びなし」にならないよう、探求するような運動を行うこと。
- ⑤必ず最後に振り返りを行うこと。
- ⑥安全に留意すること。



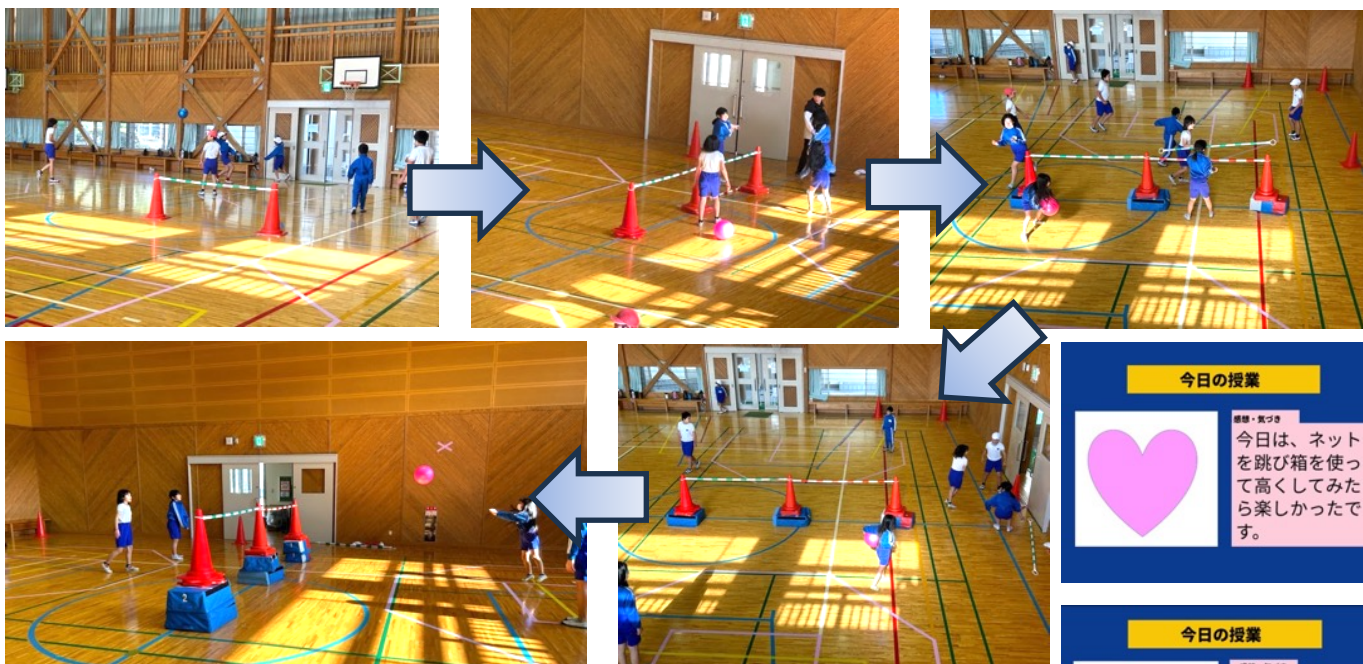
今日の授業

感想・気づき

今日は、自分の好きなことができたので楽しかったです。最後に跳び箱をしたときより高く跳べるようになっていたので嬉しかったです。



ゴール型ゲーム、ネット型ゲーム、マット運動、跳び箱運動に別れた6年生。



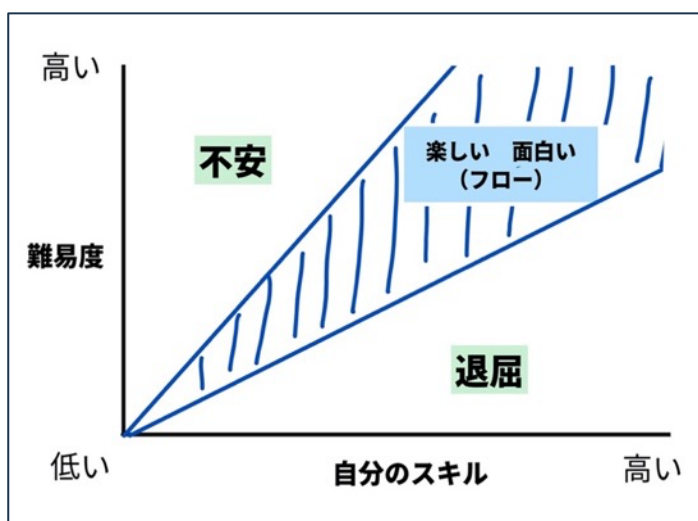
自分たちで、ネット型ゲームのルールと用具を工夫していった4年生。(幅と高さが変わっていった)

今日の授業

感想・気づき
今日は、ネットを跳び箱を使って高くしてみたら楽しかったです。

今日の授業

感想・気づき
跳び箱を使ってバレーのネットを高くしたり1バンドというのを工夫しました。



フロー理論を提示して授業を行なった5年生。楽しさを求め、いろいろ工夫していた。

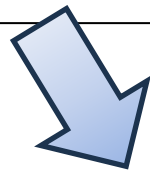
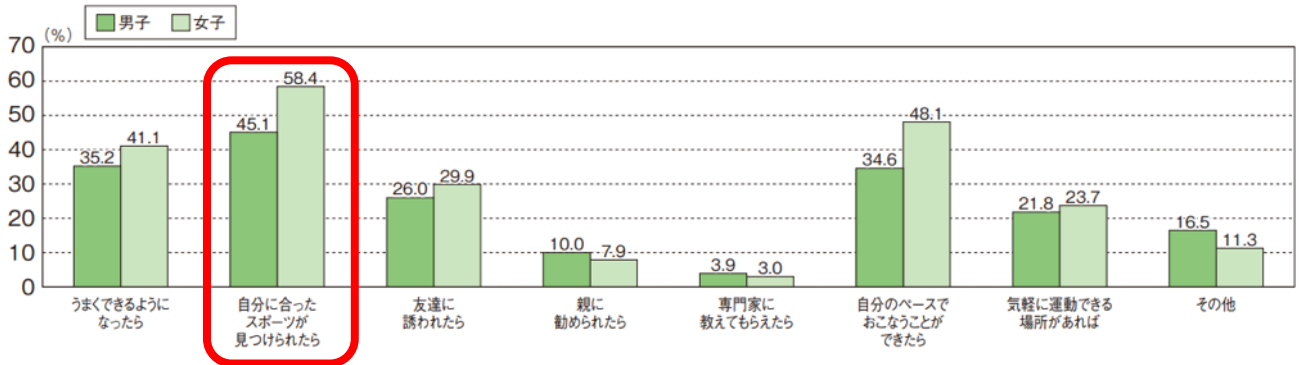


今日の授業

感想・気づき
最初の中休みとか昼休みのドッチは、キャッチとかがなかなか出来なかったけど体育の授業でキャッチができてよかったです。

「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果」の、気になるもう一つの数字。

質問3-3 (質問3で「あまり思わない」または「思わない」と回答した人) 今後どのようなことがあれば、卒業後も運動したくなると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。



たくさんのスポーツを経験させなければいけないということ？

(こちらから伝える授業も大切)

ということで、今年は相撲もさせてみました。

きょうのじゅぎょう

かんそう・きつぎ

おすもうがたのしかったです。

きょうのじゅぎょう

かんそう・きつぎ

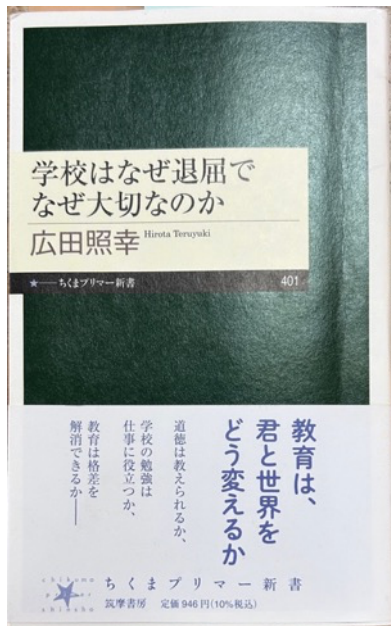
すもうをもうちょっとしたかったです。

珍しく振り返りに水色ハートがあったので、その子に、どうして水色が多いのって聞くと、相撲をもっとしたかったからと即答。



一年生のお楽しみ会では、相撲が取り入れられていました。

とっても盛り上がっていました。



少し関連することなので、一年前に読んだ本を紹介します。

『学校はなぜ退屈でなぜ大切なか』広田照幸著

(ちくまプリマー新書)

この本には

「多くの子どもたちに『勉強がつまらない』というふうに映るのは、学校知の本質です。つまらないと思った人は多いと思いますが、学校はそういうものです。身近な日常経験とは切り離されたものを教わっているのです。仕方ありません。」と記載されていました。

(100pより)

身近な日常では経験できないことも、経験させるのが学校の役割の一つなのかもしれません。

豊かなスポーツライフの実現に向け

授業者が工夫して

子どもたちに運動の楽しさを教える授業はもちろん必要

そして

子どもたち自身で楽しさを求める授業も必要

また

子どもたちに経験したことのないことを教える授業も必要

最近、そう感じています。